

環境保全報告書(令和2年度)

2021年7月

新明和工業株式会社
航空機事業部 甲南工場

環境保全事務局

1. 重点課題の取組みに係る報告

◎:目標達成、○:前期より改善、△:変化なし、×:悪化

環境目的		2020年度			備考 (未達の場合は理由)
		年度計画	(実績)	評価	
1 水質・土壌の安全管理 ・化学物質の適正管理	①-1 法的要求事項の調査 ①-2 顧客要求事項の調査 ①-3 (航)追加管理の要否判断	②-1 法的管理対象の設定 ②-2 (航)管理用グループ分け	①調査に併せて(航)現状運用システムにおける問題点の抽出	△	今後あるべき管理方法についての仕様決定及び現状運用システムの問題点(差異や不足部分)のまとめ遅れ
2 人材育成 ・環境保全活動に係る 従業員の知見、意識の向上	①-1 法的要求事項の調査	①-2 教育資料作成 ①-3 環境ルール策定	・環境法令順守評価 を実施 ・新人、従業員用EMS教育資料、 ・フロン使用機器点検要領詳細 ・毒劇法要求事項 などを資料作成・説明実施	○	21年度は「化学物質」取扱関連法令について教育資料を充実させたい。
3 廃棄物削減とリサイクル		-	-	-	-
・排出量の低減	廃プラ排出量 [t]	年間 360以下	259	◎	新型コロナウイルス感染症の影響で787生産調整などにより排出量が激減
	廃木材排出量 [t]	年間 360以下	253	◎	
	処理費 [k¥]	■	■	◎	
・リサイクル率の向上	リサイクル切替目件数	・各部門1件以上	下期に事例提出の刈取り実施も不十分	△	全体EMPのリリース遅れ →各部門への展開遅れ
4 気候変動への対応		-	-	-	-
・CO2排出量低減	CO2排出量※ [t-CO2]	年間 14,929以下 → 12,653以下 に改定※	12,031※	◎	CO2排出量原単位【参考】は僅かに超過(実績0.523 vs計画0.514)
	改善事例 [件]	・各部門3件以上	下期に事例提出の刈取り実施も不十分	△	全体EMPのリリース遅れ →各部門への展開遅れ
・フロン類漏洩の防止・管理	②-1 台帳登録・維持		各部門から機器登録継続確認中約1270件の登録済	○	→機器リスト・点検簿の電子管理化を推進中
	②-2 自主点検(3か月に1回)		内部監査員による順法確認結果、問題無し	○	

※航空機事業部 4工場（甲南・徳島・宝塚・播磨）の合計値で集計・評価

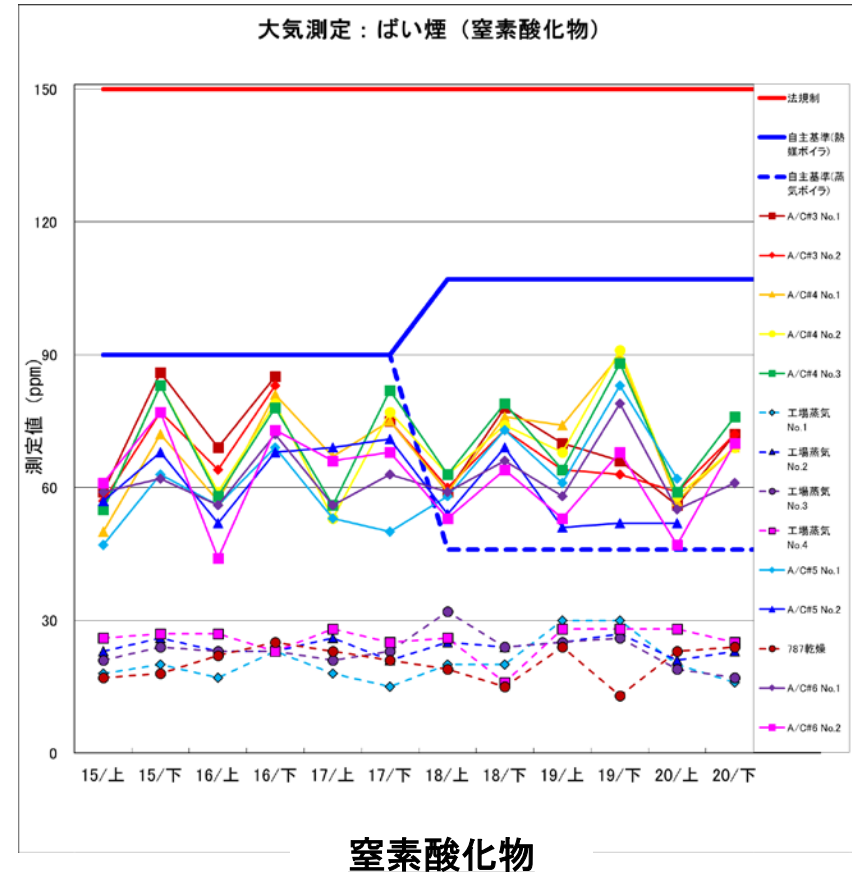
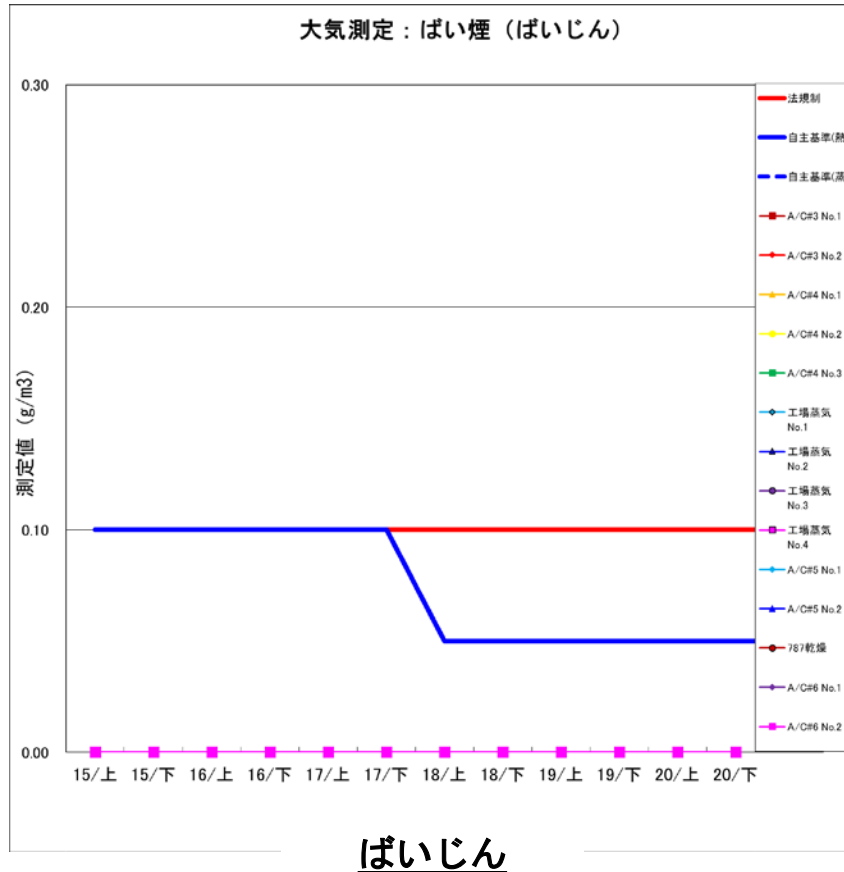
電力に係るCO2排出係数：0.311 (t/MWh)を全年度で適用・比較。（関西電力 環境省の実排出係数：平成22年度実績）

2. 公害防止対策に係る報告

公害上の分類	管理項目	管理方法	目標達成のために講じた措置・対策	測定結果	評価
大気汚染	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー燃焼で発生する窒素酸化物、ばいじん ・洗浄施設で発生するVOC ・塗装設備等で発生する廃ガス 	社内「大気管理基準」に従い、測定を通じて順守状況を確認し、問題があれば速やかに改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラーメーカーによる定期点検を継続実施。 ・遠隔監視システム契約を継続し、常に最適な燃焼状態を維持。 ・設備作業前点検を順守、排気フィルタ類は定期的な清掃・交換を実施。 	<p>定期測定結果は結果①参照</p> <p>測定対象無し</p>	○
水質汚濁	<ul style="list-style-type: none"> ・生産系排水 ・生活系排水 ・雨水排水 	社内「水質管理基準」に従い、測定を通じて順守状況を確認し、問題があれば速やかに改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間連続監視による兆候管理を継続。 ・定期採水分析による監視を継続。 ・雨水側溝の清掃点検を実施。 	定期測定結果は結果②参照	○
騒音・振動 ・悪臭	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地境界線における設備騒音 ・飛行艇エンジン運転時における管理基準の順守 	社内「騒音・振動・悪臭管理基準」に従い、測定を通じて順守状況を確認し、問題があれば速やかに改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音定期測定(2回/年)を実施。 ・飛行艇エンジン運転時の日時順守を徹底する。 	<p>測定結果は、結果③参照 夜間は国道43号線車両通行音のため処置不要</p> <p>測定対象無し</p>	○
産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物 ・特別管理産業廃棄物 ・事業系一般廃棄物 	社内「廃棄物管理基準」に従い、測定を通じて順守状況を確認し、問題があれば速やかに改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物置場の定期巡視による飛散、漏洩の防止 ・廃棄物処理業者の視察による適正処理確認 	<p>定期巡視の継続実施により問題なし</p> <p>新型コロナ影響のなか、5社視察を実施</p>	○
土壌汚染	<ul style="list-style-type: none"> ・有害物質使用特定施設 	社内「土壌管理基準」に従い、有害物質使用特定施設の定期的な点検を実施し、問題があれば速やかに改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・有害物質使用特定施設について定期的な点検を実施。 	特定施設の定期点検結果、問題無し	○

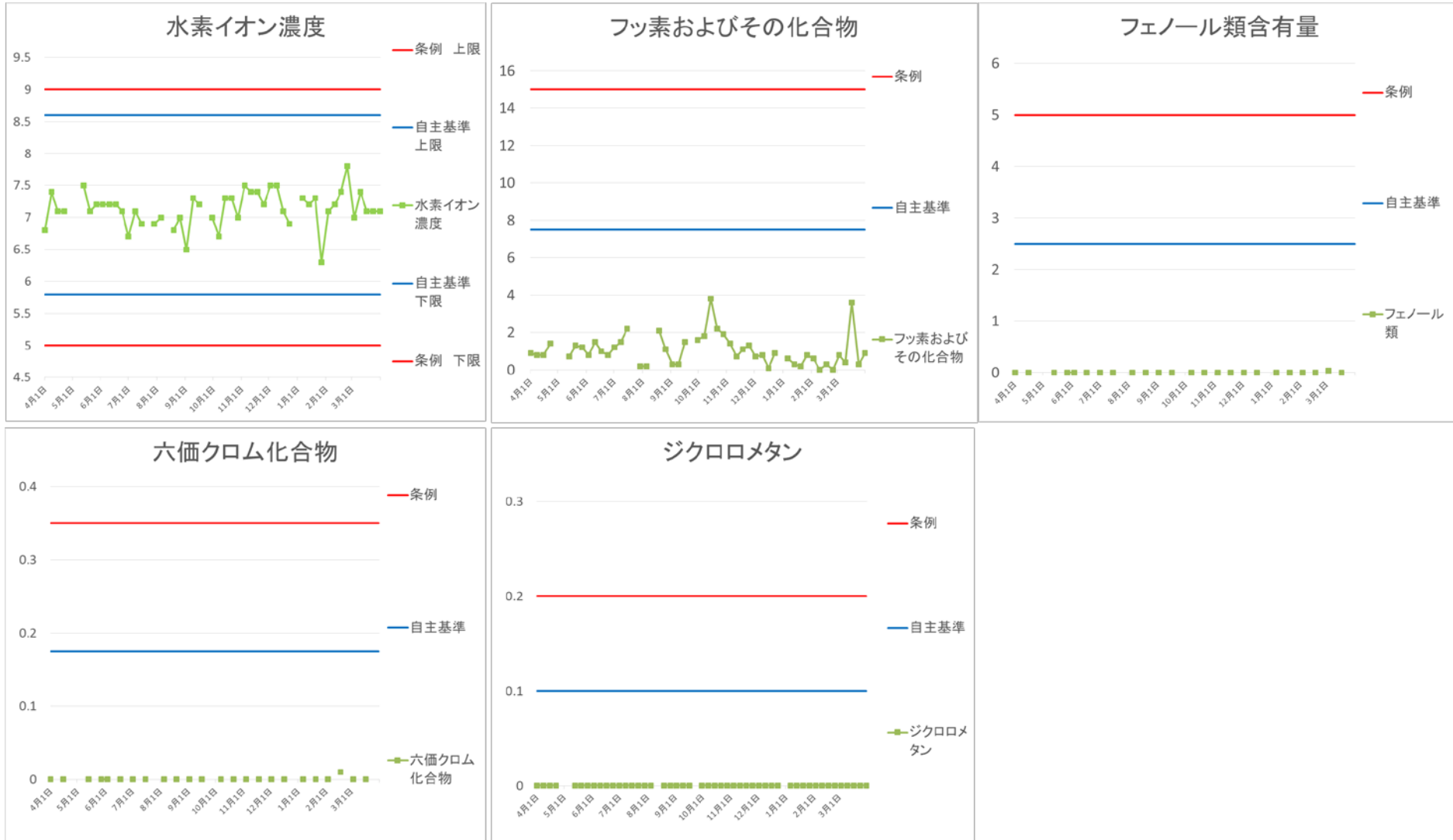
2. 公害防止対策に係る報告

2-1. 定期測定（結果①）：大気汚染



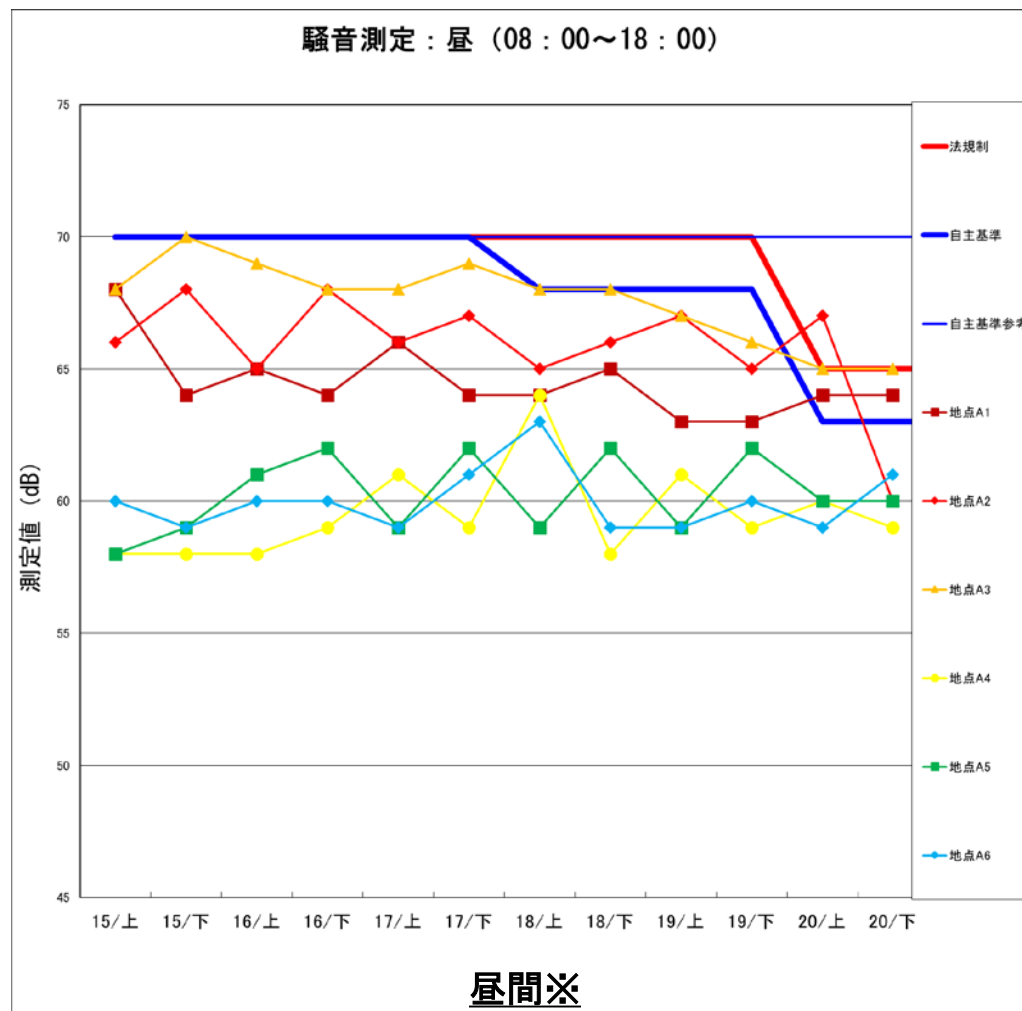
2. 公害防止対策に係る報告

2-2. 定期測定（結果②）：水質汚濁



2. 公害防止対策に係る報告

2-3. 定期測定（結果③）：騒音



※生産量の激減・一部製品の操業休止などを考慮し、昼間のみ結果を示す。

3. 地球温暖化対策に係る報告

3-1. 電気・燃料等の使用量、温室効果ガス（CO2のみ）排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量 (MJ)	排出係数	排出量	温暖化係数	合計
					kg-CO ₂ /MJ	kg-CO ₂	CO ₂	(CO ₂ 換算)
燃料の使用	原料炭			28.9	0.0867			
	一般炭		kg	26.6	0.0906			
	A重油	0	ℓ	39.1	0.0693			
	B重油		ℓ	40.4	0.0705			
	C重油		ℓ	41.7	0.0716			
	LPG	156	kg	50.2	0.0590	468	1	0.5
	都市ガス	1,302,474	Nm ³	45	0.0499	2,922,752	1	2,922.8
	ガソリン	2,400	ℓ	34.6	0.0671	5,572	1	5.6
	灯油	5,058	ℓ	36.7	0.0678	12,592	1	12.6
	軽油	1,566	ℓ	37.7	0.0686	4,048	1	4.0
	その他 (廃棄物等)			kg	42.3	0.0762		
電気事業者から供給された電気の使用		23,708,508	kWh		0.358 (kg-CO ₂ /kWh)※	8,487,646	1	8,487.6
熱供給事業者から供給された熱の利用			MJ					
ドライアイスの使用		1,654	kg			1,654	1	1.7
合計								11,434.7

※ 電気に係るCO2排出係数は、兵庫県宛「特定物質排出抑制措置結果報告書」等で適用の値
甲南工場のみで排出された値を集計

3. 地球温暖化対策に係る報告

3-2. 当該年度の計画達成状況 (単位：t)

温室効果ガス	削減目標		排出量		削減率(%)	
	今年度 (2020年度)	2020年度	基準年度 (2013年度)	今年度 (2020年度)	今年度 (2020年度)	2020年度 目標
二酸化炭素※	12,908.6	12,908.6	12,966.1	11,434.7	-	-
メタン	0.5	0.5	0.5	0.4	-	-
一酸化二窒素	0.1	0.1	0.1	0.1	-	-
HFC	0.0	0.0	0.0	4.0	-	-
PFC	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
六フッ化硫黄	0.0	0.0	0.0	0.5	-	-
三フッ化硫黄	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
合計	12,909.2	12,909.2	12,966.8	11,439.7	-	-
生産高(百万円)	29,000.0	29,000.0	27,096.0	27,037.8	-	-
原単位	0.445	0.445	0.479	0.423	105.4%	100.2%

※ 電気に係るCO2排出係数は、兵庫県宛「特定物質排出抑制措置結果報告書」等で適用の値
甲南工場のみで排出された値を集計

3. 地球温暖化対策に係る報告

3-3. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

抑制措置 大分類	具体的対策	削減目標	実施状況
省エネルギー等 低炭素型事業 活動の徹底	<ul style="list-style-type: none"> a)コンプレッサの効率運転・配管エア漏れ修理 b)オートクレーブ・熱処理炉・乾燥ブース 充填率の極大化 c)部品塗装工程での不具合率低減 d)生産活動の効率化(残業・休出の縮減) e)作業、保管集約による空調室、冷凍庫の 空地化、生産休止時の24h空調室の全面停止 f)OA機器の待機電力削減 g)照明機器の消し忘れ防止(昼休み・夜間) h)空調の適正な使用(夏期:28度、冬期:20度) 等の定着した節電活動 	電力:876千kWh 都市ガス:34千m ³	<ul style="list-style-type: none"> a)コンプレッサ老朽更新実施 b)オートクレーブ充填率改善提案 顧客承認審査中 e)間接部門事務所集約実施 一時休止時に当該24h空調も停止 (計2.5か月) c),d),f)~h) 継続して運用・管理実施中
製造設備又は 事務所ビルの 低炭素化	<ul style="list-style-type: none"> a)高効率反射板付メタハラ電球・LED照明の導入 b)R22フロン使用機器の高効率空調機器への 更新 等の効率化機器適用 c)空調機器の間欠運転制御システム導入 	電力:100千kWh	<ul style="list-style-type: none"> a)LED照明更新実施 (400型水銀灯→LED灯具へ) b)空調機器更新実施 (冷房能力 計83kW相当) c)20/7月から運用開始

4. その他環境保全活動に係る報告

(航) ESG No.	ESG重要課題	項目	細目	目標	結果	評価
3	環境にやさしい製品	・有害化学物質の適正管理と削減	使用量の削減 低環境負荷材料の理解 含有物質算出精度の向上	作業改善 勉強会 集計方法確立	購入量・使用量・廃棄量の調査及び集計を継続	○
4	気候変動への対応	・フロン適正処理	定期点検によるフロン類漏洩の予防 保全を実施	全数 (100%)	100%	
5	水質・土壌の安全管理	・廃水処理・表面処理での事故撲滅 ・PCB管理	予防保全実施による突発事故の撲滅	事故0	外部への流出事故0	○
			棚卸し実施、保管状況の確認	年1回 (11月)	11月に実施	
7	廃棄物削減とリサイクル	～産業廃棄物～ ・発生量の抑制 ・排出量の抑制 ・埋立量の削減	積層プログラムの改善による複合材料 使用量を削減 有効期限付材料の購入量適正化 有効期限付材料の廃棄管理徹底 有価物化の推進 廃プラの分別徹底 ガラス・陶器類のリサイクル業者の開拓	1,150t/年	750t/年	○
				2.5t/年	0.5t/年	
		～一般廃棄物～ ・排出量の抑制 (「可燃ごみ」)	紙、プラスチック類、缶、ペットボトル類の 分別回収推進による排出量削減・勉強会 回収時の立会チェックと分別指導	4,856kg/年	4,817kg/年	○
12	人材育成	・必要資格保有者の育成・確保 ・緊急時の訓練	公害防止管理者(水質関係)資格の拡充	資格1名取得	資格2名取得	○
			表面処理、危険物貯蔵所、給油所での漏洩を想定した緊急時訓練を実施	各訓練項目で年1回以上	各訓練項目にて全4回実施	
14	コミュニティとの調和	～工場騒音の監視～ ・飛行艇エンジン運転試験の適正管理 ・工場設備の稼働状況監視	近隣自治会等へエンジン運転情報の連絡 エンジン運転スケジュールの厳守 敷地境界での騒音測定実施 一部設備の夜間早期稼働制限を実施	苦情0	苦情0	○
				法規制値順守	超過0	
		～地域社会への貢献～ ・ボランティア活動への積極的参加	近隣地域や駅までの通勤経路等の 清掃活動を実施	年1回(11月)	新型コロナ影響を考慮し 20年度は中止	-
18	基本と正道の徹底	～ISO14001の維持管理～ 内部監査 定期サーベランス 見直し会議	年2回以上実施	年2回以上	8月、2月に実施	○
			審査機関：日本環境認証機構 活動を振り返り、将来への改善提案	10月	10月に更新	
				年1回以上	9月に実施	